

今、憲法問題を語る — 憲法問題対策センター活動報告 —

第108回 日本学術会議会員の任命拒否問題と立憲主義の危機

憲法問題対策センター事務局長 津田 二郎 (57 期)

2020年8月末の安倍前首相の退陣表明を受けて、9月、菅義偉首相が誕生しました。ところが菅首相が、2020年10月、日本学術会議の新会員について、同会議が推薦した105名の候補のうち6名の任命を拒否したことが明らかになりました。菅首相の任命拒否が「学問の自由」を侵すのではないかが問題です。

1 同会議の会員は公務員（国家公務員法2条3項12号の2）だから内閣総理大臣に任命権があるのは当然、という意見があります。

しかし、同会議は、政府から独立して職務を行う特別の機関として設立された（日本学術会議法3条）、我が国の科学者を内外に代表する機関です*1。この独立性の背景に学問の自由（憲法23条）があります。憲法があえて学問の自由を明文で保障したのは、明治憲法下において国家権力が不都合な大学人事や学術研究に介入し、健全な批判さえ抑圧し、国策の誤りを正す機会を失った歴史を踏まえたものです。樋口陽一東大名誉教授は、内心の自由や表現の自由のほかに学問の自由があることの意義は、研究者の人事、大学の施設や学生の管理について大学の自治を認めた点だとします*2。この趣旨は大学など高等研究教育機関だけでなく学術機関・研究者集団一般にも妥当するでしょう。

2 任命権が法定されている以上、裁量もまた任命権者にあつてしかるべきとの意見もあります。

しかし、同会議の会員は同会議の推薦に基づき、内閣総理大臣が任命するとされています（日本学術会議法7条2項）。会員の選出方法が、1983年に推薦方式に変更された際の国会審議では、同会議が諮問機関とは異なること、内閣総理大臣の任命は形式

的なものであることが明確にされ、その旨を中曽根首相（当時）が答弁しました*3。内閣総理大臣が会員の任命をする際には、同会議側の推薦に基づくという法の趣旨を踏まえる旨の参議院の附帯決議があります*4。また、2004年の国会審議でも、同会議の独立性が担保されていることが再三強調され、政府及び同会議に対して独立性を保つことに特段の配慮を求める衆参両議院の附帯決議がありました*5*6。

そもそも「優れた研究又は業績」が求められる会員候補者の適格性（同法17条）は専門的な判断によるほかに、内閣総理大臣がよくなしうることではありません。すると会員候補者として推薦された者の任命について内閣総理大臣は、推薦された者をそのまま任命すべきです。

3 さらに、会員に任命されなくとも自由に学問を追求できるから、学問の自由は侵害されていない、との意見もあります。

「滝川事件」は、京都大学における人事に国が介入した事件でした。研究を直接禁止されなくとも、研究者の人事に国の介入が認められると、研究者を萎縮させ、あるいは、研究テーマなどにつき付度させることにもなりかねません。自由な学術研究をするための前提として研究機関の自治が確保される必要があるのですから、学問の自由が侵害されているのです。

4 なお10月2日に本件の報道があった後、会員の候補者の任命にあたって首相官邸が2016年以降度々干渉していた事実が報道されています*7。こうした政治の学問に対する干渉を繰り返すことは許されません。わが国で立憲主義が守られるかどうかを試されています。

*1：「日本学術会議の歴史と沿革」<http://www.scj.go.jp/ja/scj/print/pdf/p70kinen.pdf> 英国「王立協会」や米国科学アカデミーの日本版と言える。

*2：樋口陽一「憲法 第三版」（創文社、2007年）246頁

*3：参議院議事録（昭和58年5月12日）34頁 <https://kokkai.ndl.go.jp/minutes/api/v1/detailPDF/img/109815077X00819830512>

*4：参議院議事録（昭和58年11月24日）附帯決議27頁 <https://kokkai.ndl.go.jp/simple/dispPDF?minId=110015077X00219831124>

*5：衆議院議事録（平成16年3月23日）附帯決議14頁 <https://kokkai.ndl.go.jp/simple/dispPDF?minId=115905124X00720040323>

*6：参議院議事録（平成16年4月6日）附帯決議24～25頁 <https://kokkai.ndl.go.jp/simple/dispPDF?minId=115915104X00820040406>

*7：2020年10月8日付東京新聞「国論二分する政策に学術界から批判受け人事に関与始める？＜学術会議任命拒否＞」など